



『映画を見て考える みんなで支える「コミュニティ」って何?』

最近、色々な機会に『コミュニティ』という言葉聞くことがありませんか? 『コミュニティ』とは地域や共同体という意味で使われますが、地域福祉を考える時にも『コミュニティ』はとても大きな意味を持ちます。

皆さんの身近な地域では、ご高齢の方や障がいをお持ちの方等、様々な方が一緒に暮らしています。その方たちが住みやすい地域を目指すためには、それぞれが得意なことやできることを活かせる地域づくり=『コミュニティ』を形作ることが大切です。

今回は、映画を通じて、『コミュニティ』について考えるきっかけ作りとなるような、イベントを開催します。皆さんの参加をぜひともお待ちしております!!

- 日 時：令和5年8月24日(木) 10時～12時
- 場 所：宮前市民館 ホール(宮前区役所隣り)
- 参加費：無料(定員 500名 ※先着順)

当日の内容

<<スケジュール>>



時 間	内 容
10時00分 ※受付開始は9時30分～	開会
10時00分～10時10分	開会のあいさつ
10時10分～10時30分	第1部 大道芸の披露
10時30分～10時40分	(舞台転換)
10時40分～12時00分	第2部 映画上映「梅切らぬバカ」
12時00分	閉会



※詳しい内容は裏面をご覧ください

第1部 大道芸の披露（10時～）

地域で活躍するボランティアの方による大道芸の披露です♪

披露いただく方は、地域で民生委員児童委員としても活躍されている、

中里 文雄 様です。

宮前第1地区民生委員児童委員の会長として、豊富な経験と知識を基に、地域福祉の推進に携わる一方、地域の方に楽しんでいただきたいという気持ちから、ご本人も『南京玉すだれ』などの演芸をされています。

「さて、さて、さては南京玉すだれ～♪」のおなじみのリズムに合わせて、皆様も一緒に楽しんでください！



第2部 映画「梅切らぬバカ」上映（10時30分頃～）

コミュニティについて考えるきっかけをくれる映画「梅切らぬバカ」を上映いたします。

（あらすじ）

都会の古民家で寄り添って暮らす、高齢の母親と自閉症の息子の物語。息子の50歳の誕生日を機に、グループホームへの入居を考えるが…。障がいを抱える息子との暮らしの中で、地域コミュニティとの不和や偏見といった課題を取り入れながら、地域社会で生きていく親子の絆と深い愛を描いた作品



©2021「梅切らぬバカ」フィルムプロジェクト

●出演者
加賀 まりこ、塚地 武雅
渡辺 いっけい、森口 瑠子、斎藤 汰鷹 ほか

ことわざ 「桜切るバカ、梅切らぬバカ」とは？

「木がすこやかに成長するには、それぞれの木の特徴をきちんと理解して、育てることが大切である」という意味。そこから、人とのかわりでも、相手の性格や特徴を理解しようと向き合うことが大事であるということを示す。

民生委員児童委員とは



民生委員児童委員とは、住民の立場から、地域や住民の方が抱える課題について一緒に考え、解決のために、色々な機関と連携し、地域の中の「パイプ役」として、地域の生活を支える人です。